

2025年9月

株式会社カクシンライフ 中長期ビジョン

代表取締役社長 柳 慎太郎



目次

目次	P2
1. はじめに	
1 カクシンググループ事業	P3
2 カクシンググループ理念	P4
2. カクシンライフ中長期ビジョン	
1 トップメッセージ	P5
2 2035年ありたい姿	P6
3 実現への行動規範	P7
4 策定の目的	P8
3. 社会情勢の実情と変化への戦略	P9
4. SDGsにおける持続可能な社会実現への取り組み	P10
5. 情勢変化に伴う現況課題 - 株式会社カクシンライフ	P11
6. 中長期事業展望と課題への方策	P12
7. DX推進の取り組み	
1 DX推進強化における組織編制	P13
2 経営に基づく推進計画	P14
3 DX推進シナリオ	P15
4 DX人材育成体制	P16
8. 進化し続ける技術により生み出される新たな価値	P17

1-1. はじめにー カクシングループ事業

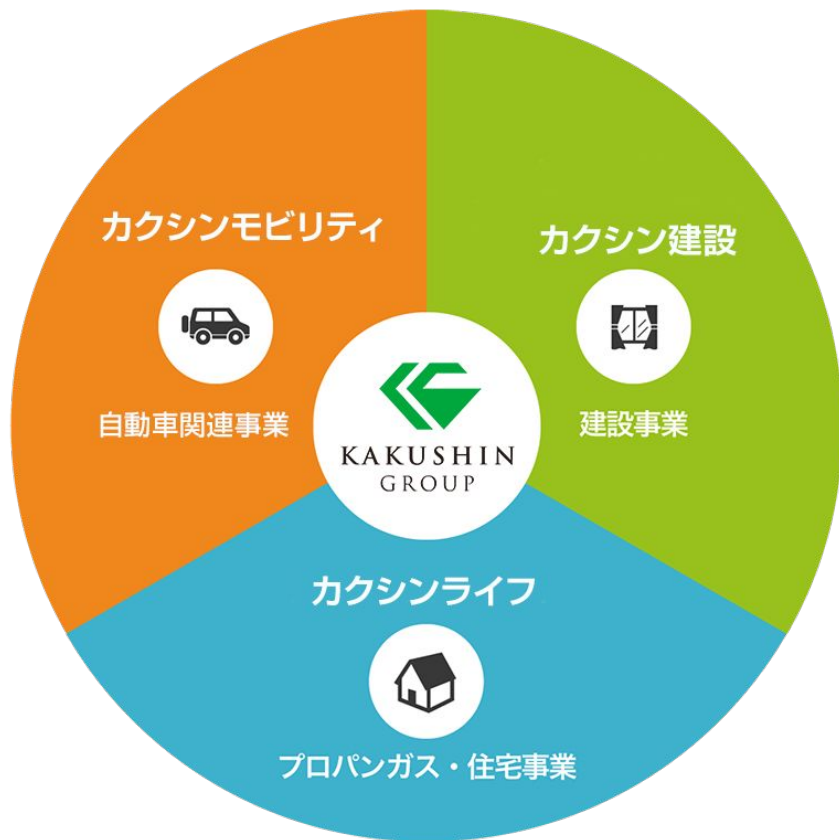
株式会社カクシンライフは、生活インフラを支える『カクシングループ』の一社です

プロパンガス・住宅設備事業

株式会社カクシンライフ

設立1967年。足立区を中心とした東京都・千葉県・埼玉県・茨城県の一般家庭・飲食店へのプロパンガス供給事業、給湯器をはじめとする住宅設備機器の施工販売事業の大きく2つの事業で50年以上。ほか、不動産販売事業、飲用水定期配送サービスを展開。

2017年に新たにRPA・OCR導入サポートサービス事業を開始し、2024年9月時点において伸張推移を示している。業務効率化推進サポートとして、オンラインによる勉強会・セミナーを実施し、中小企業のデジタル活用に貢献するサービスを展開している。



自動車関連事業

株式会社カクシンモビリティ

車検・钣金・コーティング・車販を扱い、車検台数だけでも年間6,000台以上になります。2025年1月には車販台数拡大を視野に、60年以上続いたオートガス事業を閉鎖し車販スペースを拡張。

建設事業

株式会社カクシン建設

住宅や店舗の新築からリフォーム・リノベーション、商業施設や公共事業まで幅広い建設事業を手掛けています。特に、大手コンビニエンスストアやドラッグストアの新築・改装工事においては、業界での実績が豊富で、地域に密着した確かな技術でお客様の理想を実現します。

1-2. はじめに - カクシンググループ理念

カクシンググループミッション

カクシンリョクで世界を豊かにする

5つのカクシンリョク

1.革新力

現 状に甘んじることなく、挑戦を続けることによりお客様のニーズに応え続けることで、企業としての価値創出を行い続けてまいります。

2.核心力

世情の課題の本質を捉え、自社で解決できるものを把握し、最適な手段を選択実行に移すことで、ガス事業、自動車事業、建設事業の発展に寄与致します。

3.確信力

時 流に流されることなく、本当に必要な物事を把握し、取組み続けることにより、頑強な組織を形成し100年後も存続し続ける企業を目指します。

4.各心力

国籍や性別、年齢に囚われることなく、各自が持つ才能を十分に発揮できるような働き方、福利構成を整え、前向きに各自の仕事を全うできる環境を目指します。

5.描く新緑

カクシンググループで働く1人1人が、自身のより良い未来を描くことで、お客様に気持ちのいい対応を行い、気持ちの良い雰囲気を広げて行く企業を目指します。

→5つのカクシンリョクにより中小企業を活発化させ、
その先で世界を豊かにできる企業を目指します。

2-1. カクシンライフ中長期ビジョン – トップメッセージ

DX推進への取り組みを強化し

あらゆる変化に適応できる強い企業へ ———

株式会社カクシンライフは、59期(2023年10月～2024年9月)過去最高利益を更新することができました。

これも従業員をはじめ、当社のサービスを継続してご利用いただけたお客様、ならびに変わらぬお取引をいただいた各企業様のご支援あってこそです。心より感謝いたします。

働き方・働く価値観は、もはや進化といっても過言ではないほど変化しています。

このような世の中になることを予想していたわけではありませんが、現在取り組んでいるDX推進およびサポート事業こそが急速に変わる社会情勢への適応力と捉え、さらに磨き上げていくことを今期経営の根幹としています。現在の当社ビジネスモデルはほとんどが成熟産業ですが、コロナ以前より推進していたDX・働き方改革のノウハウをアドバンテージとして、意思決定の精度、業務効率・生産性を飛躍的に向上させることで、お客様にさらなる感動のサービスをお届けすることを目指します。

当社では基盤となる生活インフラ×アナログビジネスにDX推進の取り組みを掛け合わせるに加え、RPA・OCRなどのDX推進サポート事業を促進していくことで、あらゆる変化に適応できる強い企業へと進化するとともに、新しい価値を創生し続けることで社会へ貢献していくことをお約束いたします。



2-2. カクシンライフ中長期ビジョン – 2035年ありたい姿

中長期ビジョン

2030年まで

中小企業の組織アドバイザーに

- 既成概念に囚われず自由な発想で、常に新しさを創出し続ける存在になります
- 既存事業にアジャイルな組織文化を構築し、モノ・コト共に提供する会社になります。

2035年まで

多様な人材が活躍する会社に

- 多様化する働き方・顧客ニーズに対応するべく、多様な視点で事業活動を推進していきます
- 国・言葉・男女・環境・スキルなど、多様な個性を受け入れ、活躍の機会を均等に与えられる会社を目指します。

2035年ありたい姿

カクシンリョクを世界に広めていくために

常に変化し続ける社会の変化に伴う課題に取り組み、持続的に成長できる企業

————— カクシンライフが取り組んでいる課題 —————

エネルギー安定供給

需要構造変化への対応

労働人口減少問題

ガス供給・住宅設備事業では、安定供給の確保を第一に、少子高齢化や生活様式の変化に伴う需要構造の変化など国内外の多様な環境変化に即応した対応を目指します。DX推進支援事業では、社内のボトルネックを見つけ、改善の手助けを行い中小企業のDX推進に貢献していきます。

2-3. カクシンライフ中長期ビジョン – 実現への行動規範

ビジョン実現への行動規範

戮力協心

ともに助け合い、思い合う心。

ダイバーシティ ・インクルージョン

多様性を受け入れる寛容な心。

健心・健体・健脳

全ての健康が健全なマインドを育む。

企業理念

創業より六十余年
代を重ねて継承されていく企業の在り方



創業者 柳 泰永



二代目 柳 也主男



三代目 柳 慎太郎

感謝

共感

物心両面の豊かさ

私たちは公正・透明な企業活動に努め、顧客・取引先・従業員、すべての人々への出会いと共助への感謝を忘れず、豊かで健やかな毎日を提供し続けていきます。また、豊かで健やかな毎日に貢献できる企業として、サービスの安定供給とともに新たな価値創生へ継続的な努力を惜しみません。

2-4. カクシンライフ中長期ビジョン – 策定の目的

カクシンライフ中長期ビジョン

実現のためのカクシンライフの方針

1. 地域密着の事業体からエリア拡大およびエリアを超越した新規事業体を創出
2. 組織体制および事業構造の変革による持続的な価値創造
3. 持続的な安心安全なサービス提供の役割を担い、日常を豊かに過ごしていただく基盤を支える責任を果たすことで、より良い社会また環境づくりに貢献

中長期ビジョン策定の目的

1. 方針の実現
2. 中長期的な事業計画および新規事業創出に至る明確な実行指針
3. 次期計画の基盤

■第60期経営計画発表会

2024年10月2日 実施

カクシングループ全社員に加え、取引銀行様、取引企業様をお招きし第60期経営計画発表会を実施。ご参加いただいた銀行様・取引企業様へ今期経営計画の方針、策定目的、方策を公開。

3. 社会情勢の実情と変化への方策

価値観変化に伴うニーズ変化

- ー購買動向においてモノからコト需要の高まり
- ー多様化する需要に柔軟かつスピーディーな対応

社会情勢に伴う働き方変化

- ー少子高齢化による労働人口の減少および要介護人口増加によるテレワーク需要増加
- ーIT・デジタル人材不足および社内育成プログラム浸透
- ー労働人口減少に伴う外国人登用

デジタル化への進展

- ーデジタル技術進展による産業およびデジタル社会の劇的な進行

2035年に向けた方策

積極的なデジタル化(AI・IoT等)への推進を実行し、多様化する社会の変化に柔軟かつスピーディーに組織体制・事業構造の変革実行。また、積極的な人材確保および引き続きグループ他社で実施している外国人技能実習生採用経験を基にグローバルに活躍できる人材育成。挑戦し続ける企業として成長とともに新規事業創出による躍進を図る。

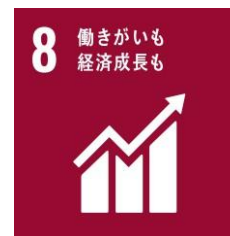
4. SDGsにおける持続可能な社会実現への取り組み

事業において 貢献を目指す 重点4項目



情勢変化に沿った安心かつ安全なエネルギーの供給とともに、
健やかで快適なライフスタイルのご提案を常に発信していくことで社
会貢献を目指します

企業として 貢 献を目指す重 点4項目



成長し続ける企業としてあり続けるために、多様化する働き方に柔
軟に組織編制を実行。従業員のライフスタイルの変化に合わせ、
継続的雇用および技能実習生受け入れ等、性別・国籍を問わず
労働環境を整え安定した雇用を支えることで社会に貢献します

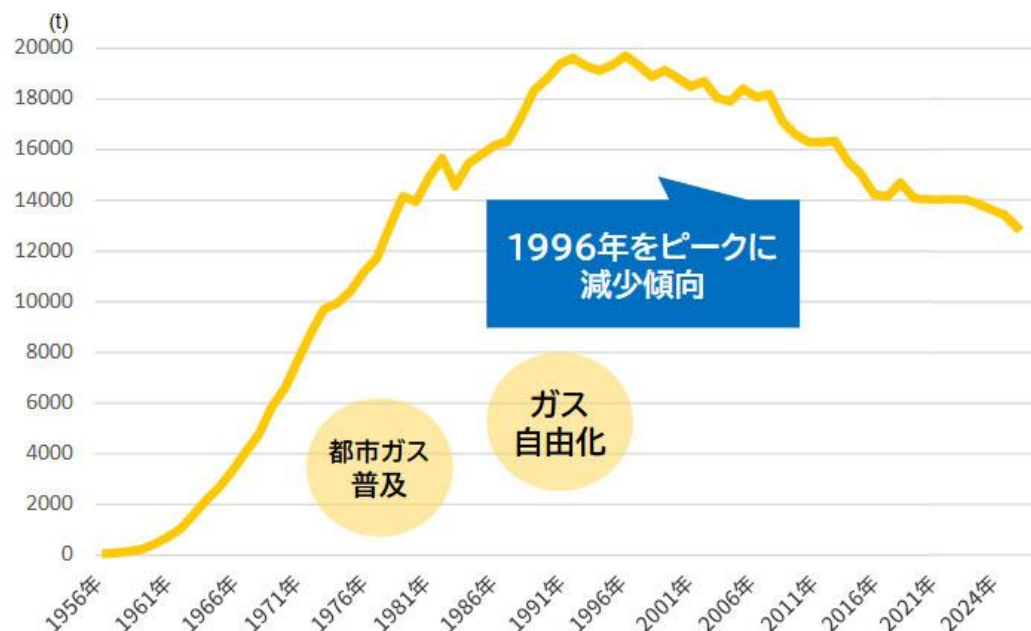
5. 情勢変化に伴う現況課題 - 株式会社カクシンライフ

事業内容:

プロパンガス供給事業、住宅設備機器施工
販売事業、DX推進サポート

❖年代別LPG需要推移(全国)

出典：日本LPガス協会



プロパンガス供給事業

東京都を中心として都市ガス普及により1996年をピークに年々供給量減少傾向。

カーボンニュートラルの動きに合わせた新設住宅のZEH比率上昇による競争。

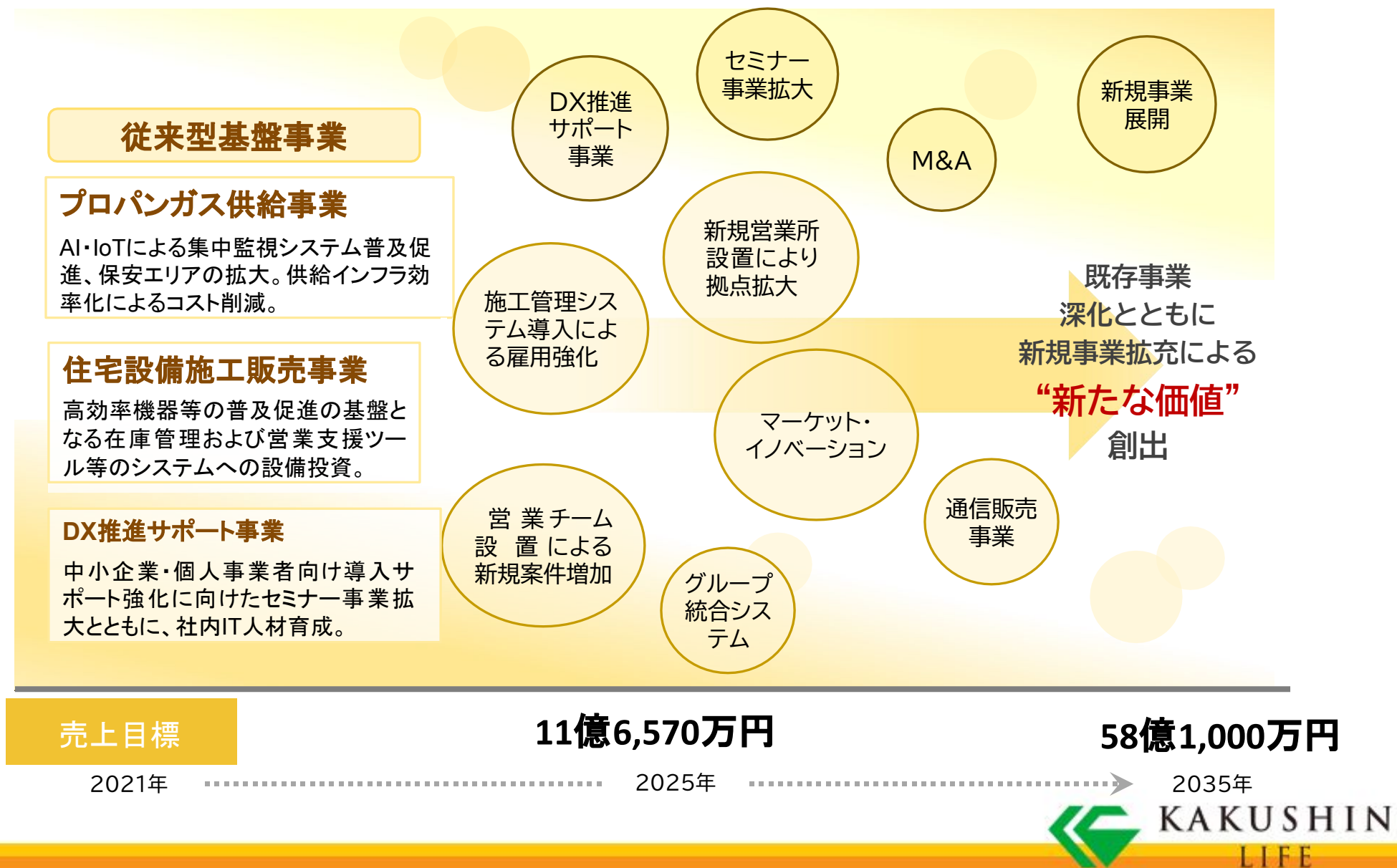
住宅設備施工販売事業

新設住宅着工数の減少、原材料費の高騰による利益率低下、世界的な金融危機や円高、個人消費の低迷、人口減少による市場の縮小傾向。

RPA・OCR導入サポート事業

DX推進が進んだ企業、手を付けられていない企業間に発生しているDX格差が生じてしまっている状況。

6. 中長期事業展望と課題への戦略



7-1. DX推進の取り組み - DX推進強化における組織編制

CIO執行役員を室長としたデジタル人材を中心に構成されたDX推進室を 2021年5月設置。

DX推進の役割

- ・現行のシステムの刷新、新規事業創出の要となるツール選定
- ・グループ全社のITリテラシー及びスキル向上を目的としたDX人材の育成

2点を活動内容とし

事業及び組織変革を実施することを役割とする

現在は2023年より導入された統合システム、2025年に刷新された基幹システムの社内浸透、システムの改修・改善を行い、2035年までに全社最適化された状態でシステム運用が展開されるように活動をしている。

■株式会社カクシンライフ組織図



7-2. DX推進の取り組み - 経営に基づく推進計画

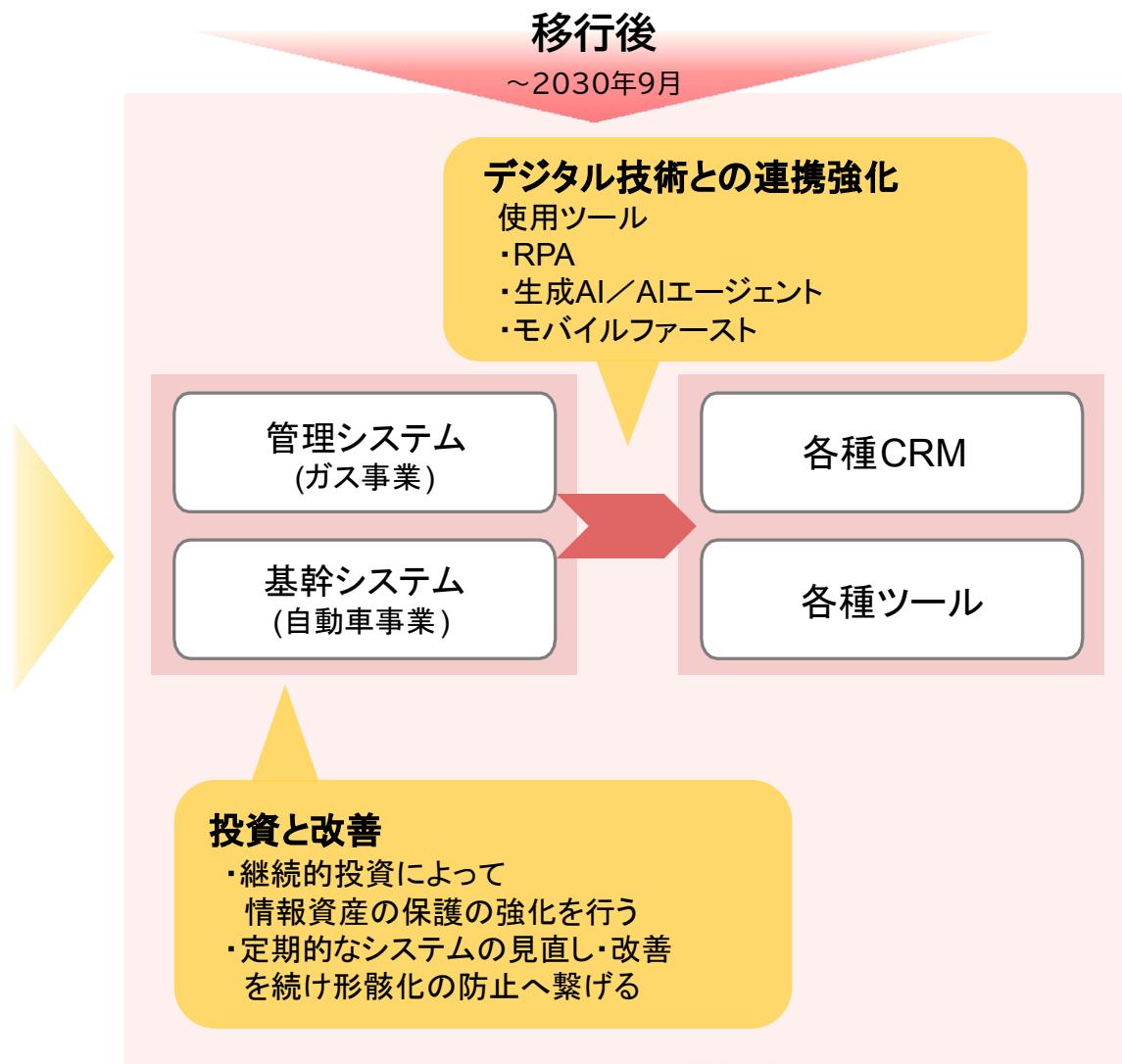
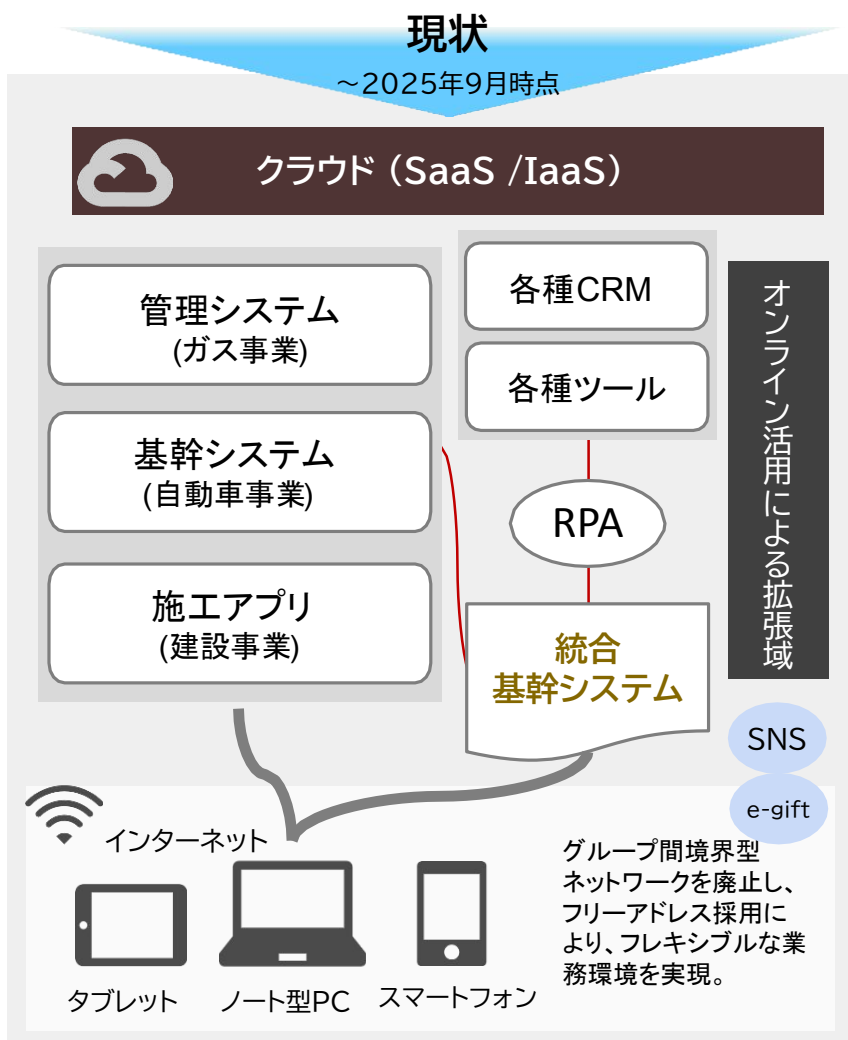
経営に基づく推進項目	実行計画
新規事業の創出	DX推進サポート事業
	業務効率化RPA導入サポート支援
既存ビジネスの深化	グループ間統合システムによるボーダレスサービス展開
	境界型業務システム脱却推進
既存システムの刷新	リアルタイム管理が可能なバックオフィスの活用向上
グループ内DX推進中核としての牽引	IT教育によるスキル向上
	情報セキュリティ管理
	グループ全体へのRPAによる自動化推進
DX推進環境の整備	DX推進室の取組内容の細分化、社内周知

上記DX推進の取り組みによる達成状況の指標

- 新規事業創出に関する売上指標
(DX推進サポート事業)前年比125%

- 既存ビジネス深化による売上指標
(プロパンガス供給事業および住宅設備事業)
前年比110%
- システム刷新・導入における指標
 - ・残業時間全従業員平均20時間以内
 - ・RPA自動化実施率20%増

7-3. DX推進の取り組み - DX推進シナリオ



7-4. DX推進の取り組み - DX人材育成体制

資格取得に関する支援

- ・ITパスポート有資格者に対する資格手当
- ・ITパスポート資格取得に関する、交通費・免許申請料・受験費用の支給
- ・ITパスポート資格取得者に対する報奨金

e-ラーニングによる全社員のスキル教育

- ・社内向けのe-ラーニング動画の作成・公開
- ・正社員は視聴を必須にし、スキルの均一的担保へ

DX成功事例の全社共有

- ・全社員が集まるタイミングで、各部署のDXで成功した事例を共有し社内ベンチマーキングを行うことで全社員のDX事例の共有

8. 進化し続ける技術により生み出される新たな価値

時代に沿った柔軟な変革

中小企業を牽引するサステナビリティ経営

DX格差が生じていることに着目しDXに踏み出せない企業に対して、RPA・MA、生成AIを活用した業務効率化やサービスレベル向上の提案を進め、中小企業全体の底上げを実現することで社会的経済効果とともに当社だからこその強みを”価値”として提供。

市場動向を掴むマーケットイン運営

デジタルマーケティング強化による商品開発

生成AIの急速な台頭により、「人にしかできない業務」と「デジタルツールに任せる業務」の分離化が進みつつある中、ツールの活用レベルが企業力を左右する時代に。MA活用強化と併せてRPAやGoogleの提供するツールや生成AIを活用することにより、リアルタイムな市場分析をおこない顧客ニーズを読み解き、真に求められる商品開発において“新しい価値”を提供。



カクシンリョクで世界を豊かにする

2025年9月

株式会社カクシンライフ 中長期ビジョン